

### 買い物行こカー

店舗への送迎車

「買い物行こカー」は、2016年度に始めました。現在、**31台 36店舗**まで広がり、年間での**べ15万1206人**が利用しています。

高齢者の悩みは「いまでも安心して暮らしていける」これに協力が積極的に関わってほしい。

買い物行こカーや、移動店舗がもっと必要とされる時代がくる。広げてほしい。



「移動店舗」は、都市部でも必要になっている。

この地域ではスーパーがなく、買い物が困難な人が多い。



### 移動店舗

「移動店舗」は、買い物に不便を感じている方がもっと利用できるように、軽四車両を導入するなど、改善に取り組んでいます。現在、**10台 521カ所**、年間での**べ11万5939人**が利用しています。

### コミュニティ食堂

子ども食堂

地域と連携して運営する、「コミュニティ食堂」や「子ども食堂」が広がっています。現在、**42カ所**で運営しています。(休止中含む)

地域の方と「ふれあい広場」のような場で、一緒に食事ができるといい。



お互いに参加するという意識で、「これなら私もできるのでは」と思える場を作りたい。

困っている人の声と、助けたいと思っている人と結びつけるしくみづくりを。



### 買い物支援ボランティア

組合員が、組合員の買い物のお手伝い

「買い物支援ボランティア」は、2016年度に始めました。現在、**13の店舗**で取り組んでいます。(休止中含む)

体力がなくなって、台所仕事も少し減る取り組みがあると良い。



店舗が近くになく、宅配は命綱。宅配がなくなったら生活できない。



### まいくる

栄養バランスに配慮した夕食弁当をお届け

「まいくる」は、メニューの充実や、冷凍おかず(冷凍まいくる)のおすすめなど、組合員の暮らしに寄り添って、改善に取り組んでいます。現在、**1日あたり 9886食**の利用があります。

### 地域めーむひろば

店舗以外の場所で、宅配商品の受け渡し

地域の企業の事業所などで、商品の受け渡しをする「地域めーむひろば」は、2018年度に始めました。現在、**37カ所**に広がっています。

### 地域との協働宅配

主に障がいのある方の就労や実習の場として、「週一宅配」や「めーむひろば」のしくみを活用した取り組みが広がっています。

地域の担い手が運営する  
■「週一宅配」……4拠点  
■「めーむひろば」……9カ所

### つながるマルシェ

コロナ禍で授産品(パンや焼き菓子、手芸品、雑貨等)の販売機会が減った福祉作業所に、店舗のスペースを提供する「つながるマルシェ」。2023年度は**41の店舗**で開催されました。

### 健康づくり

兵庫県生協連や医療生協など、地域の協同組合と連携し、健康づくりに向けた取り組みの習慣化をめざす、「健康チャレンジ」が、2018年度から始めました。2023年度は、**5608人**が参加しました。



健康寿命を延ばすよう社会全体で取り組みを推進しなければ。

### お米を贈ろう 助け合い募金

社会不安を少しでも和らげたいと願い、募金を実施。2023年度の集中募金では、**約523万円の善意**が寄せられました。

集まった募金でお米を調達し、地域のさまざまな団体に提供していきます

### 助け合いのしくみ

コープくらしの助け合いの会(兵庫県内) 助け合い制度 コープむつみ会(大阪北地区)



地域住民の助け合いによって自立したくらしを支える有償の家事支援活動です。2023年度は、**のべ2754人が活動し、のべ3531人が利用**しました。

### たすけタッチ

「ゴミ出し」など、ちょっとした困りごとをアプリの機能を使ってご近所同士で解決する取り組みが2021年1月に始めました。手助けしてほしい組合員と手伝える組合員がつながって実施されたたすけあいは、2023年度末まで**3156回**になりました。

できるときに、できる人が、できることを、ちょっぴりお手伝い。



### コープサークル

「好きなこと、興味や関心のあることはじめてみたい」「自分を生かせることをしてみたい」「仲間と楽しく過ごしたい」そんな思いをカタチにする場です。2023年度は**1055サークル、9841人**が登録し活動しました。

### 地域つながるミーティング

「地域との「出会い」の場、仲間との「協働」の取り組みが生まれ続ける場」をめざす、「地域つながるミーティング」。2023年度は、**のべ3484人(うち地域の方1097人)**が参加。生協や地域のことなど、さまざまなテーマで話し合っています。

約9割の会場に、地域の諸団体(行政や社会福祉協議会、地域の活動者など)が参画しています

つながりや、つどえる場を生協が作り出すことが、地域づくりに発展していくと感じる。

### 地域の居場所・つどい場

「ふれあい喫茶」など、コープサークルが運営する「つどい場」づくりの取り組みがすすんでいます。「ふれあい喫茶」は現在、**88カ所**に広がっています。(休止中含む)「つどい場」立ち上げ助成を活用して2023年度は、**24グループ**立ち上がりました。

地域に開かれたコープの「つどい場施設」は現在、**22カ所**あります



### フードドライブ

家庭で余った食料品を持ち寄り、フードバンクや子ども食堂などに提供する「フードドライブ」は、2021年度からは店舗で**常時受付**をしています。2023年度は**55.2tの食料品**が集まりました。

集まった食料品は現在、地域の**336のさまざまな団体**に提供しています



マイバッグ運動が定着したように、社会的意義のある活動を。

「食品ロス」の問題は、生協が率先して取り組むべき。

### 地域コープ委員会

「学んで、伝えて、つながって」をキーワードに活動しています。くらしに密着した活動の推進を通して、社会やくらしの向上をめざしています。**141委員会 1417人**の委員が活動します。